



10月29日、「いいたて村文化祭」のステージ発表を終えたばかりの皆さんを、ホール横でパチリ

仲間とともに
その44

飯館フラクラブ

活動データ

- かつては村の公民館で練習をしていました。現在は福島市小倉寺の集会所を借りて、月3回程度練習しています。
- フラを通じて、福島市内などの愛好団体と交流。ステージで共演する機会もいただいています。

「飯館フラクラブ」が活動を始めたのは12年前のこと。避難前は村の公民館に集まり活動していました。その仲間たちが、震災後の避難で離ればなれになり、福島市内で活動を再開するまでには約1年を要したそう。

「それでも同じメンバーで続けているんです」と教えてくれたのは、代表を務める細川ミツさん(上飯樋)。「月に3回、先生を招いて練習をしています。何より皆で集まって踊れることが楽しくて」。この日は村の文化祭で、息の合ったフラを披露。癒やりに満ちた華やかなステージが、客席を魅了しました。

ふるさとを未来につなぐ
小宮民俗芸能保存会

11/6

ふるさとの祭り in 白河



上.10の踊りを見事に披露しました 下.家族と共に参加する早乙女役の小中学生も注目を集めました。会場からはあたたかな拍手が



11月5日・6日、J.R白河駅近くの特設会場で、県内各地の芸能団体が競演する「ふるさとの祭り2016 in 白河」が開催され、村からも「小宮民俗芸能保存会」が出演しました。

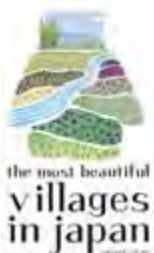
小宮の田植え踊りは、伝承が途絶えて20年が経過していましたが、震災を消滅の危機と捉えた保存会が、活動を再開。子ども時代に踊り手だった人が中心となり、平成26年からは若い世代への継承も行っています。今年9月からは、小宮のコミュニティセンターで、毎週日曜日に練習を重ね、村の文化祭に続くこの舞台に臨みました。

「小宮民俗芸能保存会」は、6日のステージに出演し、田仕事のようなすを10の踊りで表現する田植え踊りを披露。手足の角度までピタリと合った鮮やかな舞いが、大きな拍手を集めました。

表紙

第28回ふくしま駅伝

レース後に笑顔を見せる飯館中生と教職員。世代をつなぐ大切な仲間です。記事はP8で。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。